



あのとときの常呂・写真館

VOL 92

(1984年)

昭和59年6月5日

富丘老人クラブゲートボール場造成作業

▶昭和59年7月号の「広報ところ」は、「富丘老人クラブが、富丘小学校校庭横に昨年作ったゲートボール場を拡張、トラックやトラクターを使い、立派なゲートボール場が完成しました」と伝えています。

▶社会教育事業の報告や計画を載せている「ところの社会教育」の昭和59年度版には、58年度の事業報告、59年の事業計画に「ゲートボール」の文字はありませんが、高齢者の間ではゲートボールという競技が、社会教育行政の社会体育とは別に、昭和58年にはそれなりに愛好者が増え、急速に広まっていたことを示しています。



*この4枚は、この造成作業のようすを記録した写真です。
自分たちのコートを作るという意欲が感じられます。



*このページの写真は、昭和60年5月18日に行われた富丘地区のゲートボール大会です。老人クラブの会員を中心に、この時は町の保健師や家庭奉仕員（ホームヘルパー）も加わり、大会というよりはなごやかなレクリエーションの雰囲気でした。



*ゲートボールは、屋外で仲間を募り気軽にできる軽スポーツだったので、高齢者にとって「待ってました」という存在でした。だからこそ、短期間に急速に広まったといえます。

